

# 令和5年度 学校自己評価システムシート（私立武陽学園 西武台高等学校・西武台新座中学校）

R5年度 総括

目指す学校像	将来の社会の変化に対応できるしなやかな知性と耐性のあるたくましい精神の育成。急激な社会変化の下においても、主体的に生涯にわたり、学び続ける方法を身につけさせる。
重点目標	<p>スクールミッション 「未来をデザイン—創造力と人間力、個の育成」</p> <p>1 校訓を尊重した学校運営を基礎に、心豊かな体験を通して耐性のある心を育成する。                  2 学ぶ時間の確保及び学びの質を上げ、時代に即した学び方を身につけ進学実績の向上を目指す。                  3 各コースの特徴を生かし、進路選択の幅を広げる指導の強化を推進する。                  4 「いじめのない学校」・「災害に強い学校」を堅持し、安全・安心な学校づくりの推進する。                  5 学校行事・部活動の充実を図り、心技体の調和のとれた、明るくたくましい健全な精神の育成を推進する。                  6 中学校・高等学校一貫教育コースの特長を更に強化・発展させる。</p>

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校関係者評価は学校評価懇話会及び、第三者評価委員の選定状況

3月に予定 第三者評価委員会 出席者 関係者 2名
学校評議委員会 一般関係者 5名

学校自己評価							学校関係者評価	
年度目標					年度評価（令和4年11月までの経過）		実施日 第三者評価委員会	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の中間報告	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・評価・要望等
1	学習環境整備と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の持つ学力を一層伸長学びに対する姿勢を育成。</li> <li>新たな学力、思考力・判断力・表現力の育成を目指す</li> <li>探究・問題解決力の具体的な指導と評価の検討を継続。</li> <li>英検の資格認定を強化推進。</li> <li>ICT教育の更なる活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価実施と評価に基づく反省と改善。</li> <li>英検等の合格数改善。</li> <li>学びコーチングの活用度。</li> <li>英語会話授業ベルリッツの充実とその効果。</li> <li>教科における家庭学習の指導。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒進路第1希望実現の伸長度</li> <li>電子黒板・タブレット端末の利用度</li> <li>ICT情報活用力とその指導発展と授業への効果度。</li> <li>リモート授業の充実度とその効果</li> <li>ベルリッツの生徒評価とその効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路関係は現在、主に指定校とAO入試の活用が進んだ。電子黒板の利用度は大きく進展した。</li> <li>双方向のリモート授業もしっかり計画的に実施された。</li> <li>日常の欠席者へのリモート要が強いが現在では答えられず。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート授業はフルタイムで双方向の時間割通りの実施が出来た。</li> <li>学校行事は積極的に実施し成長の機会を逃すことにならないように心した。生徒・学年も様々な工夫をしてくれた。</li> </ul>	<p>第三者評価委員の構成 評価員2名。 お二人とも大学教授の方々で実施 実施日 平成6年3月27日 【総合評価】 学園内のガバナンスの醸成に向けて、若い先生方を中心に活発な議論を重ねて”再生”に向けて前進して頂きたい。社会にもその姿を発信して頂きたい。 STEAM教育については、大いに期待するものであり、卒業後の生徒の進路が楽しみである未来構想委員会の果たす役割は大きいと思われる。在校生も含めた議論を重ねて頂きたい。 総合評定 3.3 (5段階総合評価)</p>
2	進路指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の教育的効果は高く実施と充実を図る。</li> <li>生徒の第一希望実現のため進路指導へ指導組織の改善を図る。</li> <li>大学入試へは指定校、AO実力試験の3方向の見直しとその個々対応の指導推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選抜Iコースへの学び方とその指導結果。</li> <li>就職活動の支援と充実。</li> <li>難関校、上位校受験の特別対策指導の実施。</li> <li>キャリア教育の実施具合。</li> <li>アソートクラスへの指導とその効果。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>難関校・上位校、中堅大学等の進学実績の伸び率</li> <li>家庭学習時間の伸び率</li> <li>就職先の確保の状況</li> <li>探究内容等の記入及び調査書への新たな評価基準の方向性確保。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学率の伸びは一昨年に戻りつつある。</li> <li>就職率も希望者は結果が出た。</li> <li>学びコーチングを使って中学生の自宅学習時間は大きな成果を上げている</li> <li>新たな評価方法は継続審議。</li> <li>アソートへは女子も入れ良かった</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>進学結果は、昨年の結果とはやや劣るが、区分によっては大きく増加した。</li> <li>今後は生徒意識の自信と向上心の育成につぎる。</li> <li>最大は学習時間の確保と粘り強い指導であった。</li> <li>進路指導は大きく変えたい。</li> </ul>	
3	生徒指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の育成。</li> <li>学校行事強化・部活動等を充実し生活意識の向上を図る。</li> <li>交通事故防止の徹底。</li> <li>いじめ防止やハラスメントへ対応の推進。</li> <li>防災意識と避難方法徹底。</li> <li>SNS利用上の注意と発信への利用方法の基準推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶の日常的励行の指導。</li> <li>服装等の規定の遵守とその指導の在り方を全職員へ統一。</li> <li>自転車の安全な乗り方指導強化</li> <li>スマートフォン等の使用マナー改善、個人情報保護の啓蒙とその危険への啓蒙を進める。</li> <li>相談室の活用度。</li> <li>防災訓練実施と地域との連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の確立状況</li> <li>自転車による交通事故の減少数</li> <li>特別活動・部活動の成果。</li> <li>いじめ防止とその認定の有無とその対策。</li> <li>相談室の活用とその効果。</li> <li>インターネット、スマートフォン使用方法等のトラブルの減少へ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍が落ち着いたがまだ学びの生活習慣がリズムとして出ていない。</li> <li>特別活動の成果はほぼ例年通りで全国総体出場の結果も出した。</li> <li>相談室の機能は十分果たしてきた。</li> <li>スマホに関しての課題は多い。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣を年間を通して落ち着いた状況に無く苦勞した。部活動等も個々には実績を上げてくれた。</li> <li>生徒指導では大きな課題も出たが原因の解明が難しい。</li> <li>SNS等の課題は依然として多い</li> </ul>	
4	研修体制の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師として、高いモラル意識の育成。</li> <li>新規採用職員の研修の充実。</li> <li>ハラスメント防止に対し一層の意識改善。</li> <li>新課程実施上での平明化を検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初任者、10年次等を含め、計画的な研修の実施。</li> <li>年間を通じ授業公開を実施。</li> <li>授業評価の効果的な活用度</li> <li>ハラスメントの資料啓蒙実施。</li> <li>新教育課程の簡明化と新評価への統一基準簡明化へ移行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初任者研修実施結果の指導力評価</li> <li>研修体制は現在の方法での効果度</li> <li>生徒指導上や日常の生徒指導方法への在り方研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教諭の初任者研修は私学協会主催で内容を変え充実した。</li> <li>ハラスメントの研修も弁護士に依頼し実施となった。</li> <li>今年はAI活用とICT活用の研修会の内容も特に講師を依頼し実施した。</li> </ul>	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の研修は計画通り実施された。</li> <li>ICT環境整備の改善が必要</li> <li>モラルの向上は様々な面に渡って啓蒙したが、課題が多い10月に大きな問題が起きた職員意識の改善が急務。</li> <li>ハラスメントに関してもより研修を深めたい。</li> </ul>	
5	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業及び教育内容の公開。</li> <li>ホームページへの充実。</li> <li>国際理解教育の企画推進。</li> <li>新しい普通科STEAMの意義とそのPRを推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明会及び、中学校・塾等の連携を強化。単願数確保及び増加。特にSTEAM教育PR実施度。</li> <li>学校案内冊子とホームページ及びSNS積極活用の効果度。</li> <li>オーストラリア校と交流事業の推進。</li> <li>埼大との高大連携企画実現。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第三者評価委員会の評価を含めた学校自己評価の公開</li> <li>オープンキャンパスによる学校体験の実地見学の達成度</li> <li>ティンデル校とのリモート交流のや国際交流の進展度。</li> <li>セントドミニクス校との交流。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価委員会はできるだけ実施したいと念願している。</li> <li>夏のオープンキャンパスは相談会を中心として実施した。</li> <li>企業連携は特にSTEAM教育で充実した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍はほぼ終わったが、広報も改善する必要。</li> <li>受験者への理解には広報活動、資料配付の形をホームページ中心に電子媒体に更に大幅に移行する必要がある。</li> </ul>	

学校評議員評価
実施日 12月
学校評議委員会構成 保護者会関係者 3名 新座市文化協会 1名 の構成で今年も計画したが委員及び生徒には授業評価及び教科からの回答の資料を配付し個々に意見を伺った。